

■小林先生メール 090327

1) 議事録につき；Minor Change ですが 2010年の開催時期を”4月”から幅を持たせ”4-5月”とさせていただきます。

2) 議事録によると；私が先ず叩き案を作る事になっていますので（酒を飲んでいただけか 自分ではそうなった記憶はありませんが）以下に極く極くさわりの Idea を先ず提示し皆さんのご意見を伺いたいと思います。

2009年の講座を2日とすると合計最大十数時間ですから大学の講座（各期の講座では倍の時間をかけている）のように理論や Case を対話方式で行う事は難しい様に思います。

複数講師による講演方式にするか他に何か良い方式が考えられるでしょうか？（木川田先生は色々ユニークな教え方をして居られるので Idea があれば是非お教え下さい）。

講演方式は 講師の側には一番楽な方式ですが、他所で催されている講座と余り変わりが無くなるため、この方式の時は”集客力”のありそうな講師を外部から読んで来る必要があるように思います。

Panasonic の中村会長と他に1-2人、竹中平蔵さん（今はやや人気下降気味ですが）、住友重機械会長、大阪ガス会長レベルの人が来て頂ければ20-30人は集まると思います。第一日目はこれらの人に、どのようにリーダーシップを発揮して現在の経済危機に対処すべきか又はしておられるかにつきお話頂き、それを踏まえて1日目の後半から2日目にかけてはリーダーシップの理論には――と色々あるがそのエッセンスは――であり第一日目の講師の方達は夫々の置かれた立場により そのある側面を強調して居られたためそれらの意見は可成り違うように見えるが これ等の人も別の状況に置かれれば別の側面を強調されるだろう。然し理論に在るエッセンスの斯く斯くの部分は決して外して居られないし又今後も外される事はないだろう。優れた実務家は深い考察を経た持論を持って行動して居られるのでその持論は理論にこのように近い乃至則して居る云々と言うような シナリオでやる事になるでしょうか？

中村さんと竹中さんの話は複数回聞いた事がありますので 上記のシナリオに収まる筈とほぼ断言出来ますが他の会った事も無い人の場合はシナリオ通り行かない危険性は若干あります。

この方式の一番面倒な点は有名人の Availability を早く押さえて それに合わせて日程を組まねばならない点です。

実務家の持論は自分の体験に基づく為どうしても偏りがあつたり限られていたりするが理論を知っていると一見多様に見える諸々の実務家の話も全体理論の斯く斯くの場所に位置付けて吸収した後日同様の状況に置かれた時応用出来ると言えればこの講習会も他とは少しは違ったものになり受講者のためになるとは言えないでしょうか？（Facilitator になる人はやや大変かも知れませんが）

以上は講演方式を取る場合の私の想像する筋書きで 他に良さそうな方式がありましたら是非お教えください。

■小林先生メール 090401

下記前便で 社会人講座の第一次叩き案を提示しましたが講師について再考した結果 下記理由で一部修正すべきと考えました。

1) 竹中さんは大臣の間は当事者としての発言をしておられましたが当然ながら今は傍観者としての批評家的発言が多いため今は講師として招くのは不適當と思われます

2) 大阪ガスは公共事業で破産の恐れも無くメーカー・商社や中小企業と比べると厳しさが違うので受講者の共感を得にくい感じがします

3) 中堅・中小企業経営者向け雑誌”日経ベンチャー”が4月より”日経 Top Leader”と改名しましたがここで取り上げられている経営者達は任天堂の山内さんとかジャパネットの高田さんなど修羅場を乗り切った又は乗り切りつつある人でリーダーシップがありそうです。リーダーシップには課題を Define し解決する仕事面の力と集団を束ねて解決に打ち込ませる人間掌握力の二大側面がありますが一代で大を成した人は両面をよく弃えているようです。受講者も大企業の人ばかりと限りませんのでこういう人も講師に招いた方が良いでしょうに思います。

4) 実務家は自分の体験と他人の事例の観察を通じ信念・持論を形成しそれに基づき課題に立ち向かうものなので受講者にも実務家講師の話聞いた上で一日目の終り頃3-4のグループ毎にリーダーシップに関する自分達の持論を作らせグループ間で意見を戦わせその結論を受けて二日目から学内教師が理論では”かくかく”であるから受講者が共同で作った持論は 一定の状況では正しいが”かくかく”の面で不完全である。他の状況下でも対応出来るためには”かくかく”の本質的一般則を心得ている方が良い。というように講義を持って行けるとユニークで且実務家にとって身に付く講座になり Appreciate されるような気がします。